

ADECIA Firmware

主なアップデート内容

V2.8.0

新機能

[ADECIA全体]

- ADECIAシリーズの新しいデバイス、スピーカーシステムVXC2PとコントローラーCTL-BN1に対応しました。

VXC2PとCTL-BN1は、RM-CRに子機登録して使用します。RM-CRのAUTO SETUP機能にも対応しています。

VXC2PとCTL-BN1の設定には、Web GUI「RM-CR Device Manager」を使用します。

改善点

[ADECIA全体]

- PoEスピーカー (VXL1-16P / VXC2P) に対して、Delayパラメーターを操作できるようになりました。

Delayパラメーターは、Web GUI「RM-CR Device Manager」のPeripheral Detail画面で設定できます。

- Web GUI「RM-CR Device Manager」のADECIA Simplified Radius Security Service Configuration画面でIdentify機能を使用できるようになりました。

V2.02.30以降のファームウェアを適用したSWR2311P-10Gと組み合わせて使用してください。

[VXC2P]

- RM-CRとの接続の安定性を向上しました。

[CTL-BN1]

- RM-CRとの接続の安定性を向上しました。

V2.5.1

修正した不具合

[RM-CR]

- Control Setsコマンドを送信すると、RM-CRの電源を再起動するまで再度コマンドを送信できなくなる可能性がある問題を修正しました。

[RM-WAP]

- 通話をする相手側でエコーが発生することがある問題を修正しました。
- ミュートまたはアンミュートのそれぞれの状態と異なる挙動をすることがある問題を修正しました。

[VXL1-16P]

- VXL1-16PをAES67規格でパッチした状態でVXL1-16Pを再起動すると、パッチが消えてしまうことがある問題を修正しました。Danteデバイス同士では問題ありません。

その他の変更

[RM-WAP-8 / RM-WAP-16]

- 使用できる地域追加に伴い、ファームウェアをアップデートしました。

V2.5.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-WAP-8、RM-WOM、RM-CR、VXL1-16Pで構成するADECIAワイヤレスソリューションが、「Microsoft Teams」の認証を取得しました。
- RADIUSセキュリティー簡単設定機能を追加しました。本機能を使用するには、ネットワークスイッチ(SWR2311P-10G)のファームウェアアップデートも必要です。SWR2311P-10Gのファームウェアアップデート方法は、RM-CR リファレンスマニュアルを参照してください。
- Web GUI RM-XXX Device Managerに表示するインフォメーションを多言語化できるようにしました。多言語化用のインフォメーションファイルはADECIAのウェブサイトによって掲載される予定です。

[RM-CR]

- ADECIAシリーズ以外の機器を制御するControl Sets機能を追加しました。また、リモートコントロールプロトコルのコマンドで本機能を使用できるようになりました。詳細は、RMシリーズリモートコントロールプロトコル仕様書 Version 2.5.0を参照してください(後日、ADECIAのウェブサイトに掲載予定)。
- SWR2311-10Pと一緒に使う場合に、最適化されたDante設定の状態をWeb GUI RM-CR Device Managerで表示できるようになりました。
- ProVisionaire Control用のテンプレートファイルを2つADECIAのウェブサイトに公開しました。
 - 1) 遠隔会議の音声経路を制御するDialerテンプレート
 - 2) RM Device Finderを使用して設定したプリセット(部屋の分割統合設定をウィザード形式でプリセットに保存するDivide / Combine Room機能)を切り替えるDivide / Combine Roomテンプレート

[RM-CG]

- SWR2311-10Pと一緒に使う場合に、最適化されたDante設定の状態をWeb GUI RM-CG Device Managerで表示できるようになりました。

[RM-TT]

- SWR2311-10Pと一緒に使う場合に、最適化されたDante設定の状態をWeb GUI RM-TT Device Managerで表示できるようになりました。

[RM-WAP-8 / RM-WAP-16]

- 設置環境の電波状況を測定するSITE SURVEY機能が、最長で1週間記録できるようになりました。また、記録している間、PCを接続しておく必要がなくなりました。
- SITE SURVEYの結果をファイルに保存したり、読み込ませたりできるようになりました。
- DanteのIPアドレスを設定できるようになりました。設定には、Web GUI RM-CR Device Manager、またはWeb GUI RM-WAP Device Managerを使用します。
- リモートコントロールプロトコルのコマンドでRM-WAPをペアリング待機状態にできるようになりました。詳細は、RMシリーズリモートコントロールプロトコル仕様書 Version 2.5.0を参照してください（後日、ADECIAのウェブサイトに掲載予定）。

[VXL1-16P]

- ネットワークホスト名を変更できるようになりました。設定にはWeb GUI RM-CR Device Managerを使用します。
- RM Device Finderのファームウェアアップデート機能が、VXL1-16Pのファームウェアアップデートに加えて、Danteモジュールのアップデートもできるようになりました。

V2.0.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-CG、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA シーリングソリューションが、「Zoom」の認証を取得しました。
- RM-TT、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA テーブルトップソリューションが、「Zoom」の認証を取得しました。

[RM-CR]

- Preset Store/Recall 機能を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Web GUI に、VXL1-16P の Peripheral Detail 画面を追加しました。
- AES67 に対応しました。

[RM-CG]

- マイク集音の Tracking area に、Focus area の選択と Exclusion area の選択機能を追加しました。
- Ch2 の信号処理に Low Latency Mode を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Dante 出力信号の内容を選択するための Output Router を追加しました。
- AES67 に対応しました。

[RM-TT]

- Ch2 の信号処理に Low Latency Mode を追加しました。
- ネットワークセキュリティ強化のため IEEE802.1X に対応しました。
- Dante 出力信号の内容を選択するための Output Router を追加しました。
- AES67 に対応しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- RM-WGL/WGS に加え、RM-WOM/WDR も Low Latency Mode の選択ができるようになりました。

[VXL1-16P]

- AES67 に対応しました。

修正した不具合

[RM-WAP-8]

- DECT Sync を有効にして Site survey を実行する際、追加可能なマイクの数に正しく推定できないことがある問題を修正しました。
- Site survey にて、使っているはずの 6 つ目のキャリアが正しく表示されない問題を修正しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- マイクの Start mode が Standby にも関わらず、Charger に載せて降ろすと、Indicator が消灯状態になることがある問題を修正しました。

[ADECIA全体]

- 軽微な不具合を修正しました。

改善点

[RM-CR]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- AutoMixer に Weight パラメーターを追加しました。
- Web GUI の Processing 画面で Room EQ 後段の Fader を操作できるようになりました。
- 自動音響調整で Analog Speaker の volume 調整をサポートするページを追加しました。
- 自動音響調整で RM-CG、RM-TT の EQ 調整も実施するようになりました。

[RM-CG]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- AutoMixer の Ch.1/Ch.2 を個別に設定できるようになりました。
- Dante Output Ch.1/Ch.2 を個別に Mute できるようになりました。合わせて、LED の Mute ステータス表示に連動させるパラメーターを追加しました。

[RM-TT]

- Web GUI から Dante の IP アドレスが設定できるようになりました。
- Web GUI からの Configuration ファイルをインポートする際に、Mac Address だけでなく任意のファイル名を使用できるようになりました。
- Dante Output Ch.1/Ch.2 を個別に Mute できるようになりました。合わせて、LED の Mute ステータス表示に連動させるパラメーターを追加しました。

[RM-WOM / RM-WDR / RM-WGL / RM-WGS]

- バッテリーの残量により充電中は LED をオフにしていたのですが、ユーザビリティ向上のために LED をオンにするように改善しました。

[VXL1-16P]

- リモートコントロールにて、コマンド文字列の最初または最後に不要なスペースが入っていても、コマンドが正しければ受け付けるように修正しました。
- リモートコントロールにて、1～127 の UNIT ID を使用できるようになりました。

V 1.7.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-TT、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA テーブルトップソリューションが、「Microsoft Teams」の認証を取得しました。

仕様変更

[RM-CR]

- RoomEQ Fader のパラメータ初期値(0dB)を-8dB に変更しました。

[RM-TT]

- AGC(Auto Gain Control)のパラメータ初期値(Low)を High に変更しました。

改善点

[RM-TT]

- エコーキャンセラーの動作を改善しました。

[RM-CR]

- 軽微な不具合を修正しました。

V1.5.0

新機能

[ADECIA全体]

- RM-CG、RM-CR、VXL1-16P で構成する ADECIA シーリングソリューションが、「Microsoft Teams」の認証を取得しました。

[RM-CR]

- Web GUI「RM-CR Device Manager」で、非通話時のフロントインジケータ（RM-CG）、ステータス LED (RM-TT) の色を変更できるようになりました。
- Web GUI「RM-CR Device Manager」に、グループミュートの Disable 機能を追加しました。

[RM-CG]

- RM-CG と RM-CR を組み合わせて使用する場合に、非通話時の RM-CG のフロントインジケータの色を変更できるようになりました。変更には RM-CR と Web GUI「RM-CR Device Manager」が必要です。

[RM-TT]

- RM-TT と RM-CR を組み合わせて使用する場合に、非通話時の RM-TT のステータス LED の色を変更できるようになりました。変更には RM-CR と Web GUI「RM-CR Device Manager」が必要です。

V1.2.0

新機能

[ADECIA全体]

- ADECIA ワイヤレスソリューションを追加しました。
- グループごとにマイクのミュートが連動するミュートグループ機能を追加しました。
- 遠隔管理用プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) に対応しました。

*RM-WAP-8 は未対応です。

*VXL1-16P は、RM-CR と組み合わせた環境でのみ使用できます。

- Deployment Server への Provisioning 実行コマンドをリモートコントロールプロトコルに追加しました。詳細は、RM Series (RM-CR/RM-CG/RM-TT/RM-WAP)リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください。

[RM-CR]

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って Bluetooth Pair モードを監視、制御できるようになりました。

[RM-TT]

- Web GUI「RM-TT Device Manager」を使用できるようになりました。
- ボタンを押している間だけマイクが有効になる Push-to-talk 機能を追加しました。
- 指向性の設定に合わせて、マイクの LED が点灯する機能を追加しました。3つのカーディオイドタイプと双指向性タイプの場合に使用できます。

[VXL1-16P]

- リモートコントロールプロトコルのコマンドを使って IP アドレスを設定できるようになりました。詳細は、VXL1-16P リモートコントロールプロトコル仕様書 Version 1.2.0 を参照してください(後日ヤマハウェブサイトに掲載予定)。

改善点

[ADECIA全体]

- Web GUI の説明内容を改善しました。

[RM-CR]

- Web GUI「RM-CR Device Manager」の[Update]画面で、各デバイスのバージョンの整合性をチェックできるようになりました。

既知の不具合

[RM-CR]

- SIP の音声コーデック G.729 を 2 回線同時に使用すると、音声にノイズが発生することがあります。2 回線を同時に使用する場合は、G.729 以外の音声コーデックを使用してください。

V1.1.0

新機能

- バウンダリーマイクロフォン RM-TT に対応しました。
- RM-TT の専用 Web GUI「Peripheral Detail / RM-TT」が搭載されました。RM-CR Device Manager の [Peripheral] 画面からアクセスできます。
- RM-CR Device Manager の [Peripheral] 画面で Dante オーディオを自動でルーティングさせるかどうかを選択できるようになりました。RM-CR と他のプロセッサーを併用する場合など、Dante オーディオを手動でルーティングさせたいときは自動ルーティングの機能を無効にしてください。
- RM-CR Device Manager の [Processing] 画面でデジタル信号処理のパラメーターを確認/変更できるようになりました。また、[Configuration] 画面でデジタル信号処理の設定をインポート/エクスポートできるようになりました。
- RM-CR Device Manager の [Transport] 画面で NAT トラバースルに関する設定を確認/変更できるようになりました。
- RM-CG の Remote Control Protocol にビームの方向を出力するためのコマンドを追加しました。

改善点

- Web GUI の SUBMIT ボタンをクリックしてから設定の変更が反映されるまでの時間が短くなりました。

修正した不具合

- LAN ケーブルを抜いて周辺機器との接続を切断すると Status indicator が赤色に点滅します。接続を切断したあと、RM-CR から周辺機器の情報を削除しても Status indicator が点滅し続ける、という不具合を修正しました。
- RM-TT について、特定の条件下において収音がされにくくなったり、ボタン操作に対する反応が鈍くなったりすることがある、という不具合を修正しました。
- Web GUI の SUBMIT ボタンをクリックできないことがある、という不具合を修正しました。
- その他、軽微な不具合を修正しました。

V1.0.2

新機能

Web GUI の [MICROPHONE SETTINGS] にてRM-CG のトラッキングの有効範囲を調整する際、
[Tracking area] の図内に表示される十字線の末端部分 (橙色のドット×4 つ) を直接ドラッグ&ドロップできるようになりました。

改善点

自動音響調整の基準を見直しました。

修正した不具合

RM-CR 背面のネットワーク端子が 2 つとも使用されない状態では Web GUI「Peripheral Detail / RM-CG」が正常に動作しない、という既知の不具合を修正しました。

V1.0.0

ADECIA ソリューション対応の VXL1-16P ファームウェア (V1.1.0) が入っています。